

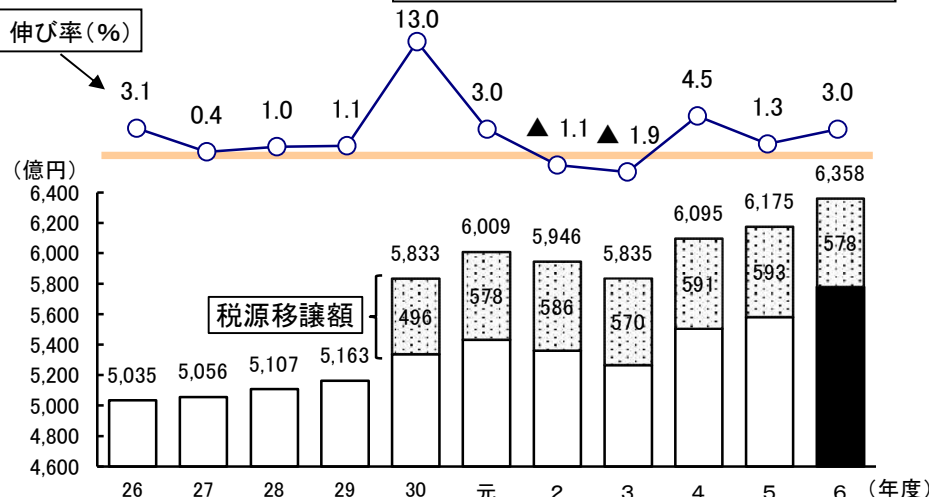
令和6年度市税決算額について

【決算額】 **6,358億円** 【徴収率】 **99.5%**

令和6年度の市税収入は、前年度決算額(6,175億円)を3.0%(183億円)上回る6,358億円となり、3年連続で過去最高額を更新しました。

徴収率は、平成30年度以来6年ぶりに過去最高を更新しました。

市税決算額等の推移



■最近の市税増減収額

(単位:億円)

年度	収入額	増減収額
26年度	5,035	153
27年度	5,056	21
28年度	5,107	51
29年度	5,163	56
30年度	5,833	670
元年度	6,009	176
2年度	5,946	▲63
3年度	5,835	▲111
4年度	6,095	260
5年度	6,175	80
6年度	6,358	183

令和6年度の市税収入は、個人市民税が国の経済対策である定額減税等により減収となったものの、法人市民税が企業業績の改善により、固定資産税及び都市計画税が3年に一度の評価替え等により、それぞれ増収となったことから、市税全体では前年度を上回り、3年連続で過去最高額を更新しました。

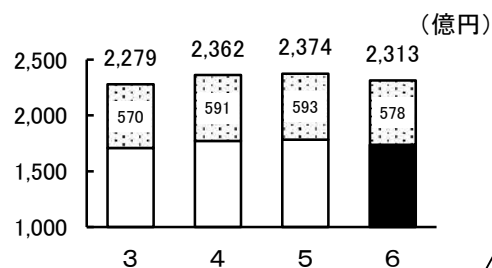
(参考) 本市の個人市民税の減税による減収額 令和6年度 ▲99億円
令和5年度 ▲96億円

【税目別内訳】

6,358億円

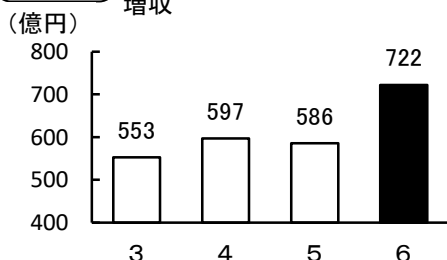
個人市民税

61億円の減(▲2.5%)
国の経済対策である定額減税等による減収



法人市民税

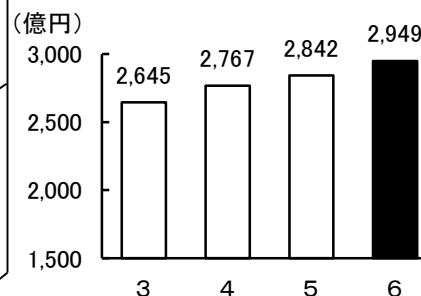
136億円の増(+23.1%)
企業業績が改善したことによる増収



固定資産税
都市計画税

固定資産税 88億円の増(+3.8%)
都市計画税 19億円の増(+3.8%)

評価替え等による増収



個人市民税
2,313億円

法人市民税 722億円

固定資産税
2,417億円

都市計画税 532億円

その他の税 374億円

軽自動車税 33億円(1億円の増)
市たばこ税 171億円(2億円の減)
事業所税 170億円(2億円の増)

(注) 増減は対前年度(令和5年度決算)比です。

(参考) 政令指定都市の市税決算額

	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	前年差 (B-A)	前年比 (B/A)
名古屋市	6,175 億円	6,358 億円	+183 億円	+3.0%
札幌市	3,538 億円	3,567 億円	+29 億円	+0.8%
仙台市	2,293 億円	2,332 億円	+39 億円	+1.7%
さいたま市	2,905 億円	2,915 億円	+10 億円	+0.3%
千葉市	2,080 億円	2,119 億円	+39 億円	+1.9%
川崎市	3,879 億円	3,909 億円	+30 億円	+0.8%
横浜市	8,863 億円	8,937 億円	+74 億円	+0.8%
相模原市	1,375 億円	1,373 億円	△ 2 億円	△ 0.1%
新潟市	1,356 億円	1,340 億円	△ 16 億円	△ 1.2%
静岡市	1,420 億円	1,419 億円	△ 1 億円	△ 0.1%
浜松市	1,524 億円	1,519 億円	△ 5 億円	△ 0.3%
京都市	3,201 億円	3,243 億円	+42 億円	+1.3%
大阪市	8,044 億円	8,305 億円	+261 億円	+3.2%
堺市	1,570 億円	1,565 億円	△ 5 億円	△ 0.3%
神戸市	3,211 億円	3,244 億円	+33 億円	+1.0%
岡山市	1,356 億円	1,342 億円	△ 14 億円	△ 1.0%
広島市	2,467 億円	2,499 億円	+32 億円	+1.3%
北九州市	1,811 億円	1,802 億円	△ 9 億円	△ 0.5%
福岡市	3,699 億円	3,837 億円	+138 億円	+3.7%
熊本市	1,281 億円	1,278 億円	△ 3 億円	△ 0.2%